



その手があった！の一手先。

## 第62期 報告書

平成 29 年 3 月 21 日から平成 30 年 3 月 20 日まで



エムケー精工株式会社



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。ここに、当社の第62期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外では、米国、欧州、アジアなど多くの諸国で好調を維持しているものの、米国に端を発した保護貿易への懸念や、中東・東アジア等における地政学リスクが認められ、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

こうした状況のもと当社グループは、モノづくりの原点を振り返りながら、顧客視点に立った商品開発とサービス品質の向上に取り組むとともに、一層のコスト低減と生産性の向上により収益基盤の強化に努めてまいりました。しかし、厳しい価格競争に晒され収益確保が難しい状況が増えてきました。

この結果、当連結会計年度の売上高は204億8千万円（前期比0.4%減）、経常利益は8億6千3百万円（前期比10.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億7千7百万円（前期比22.3%減）となりました。

今後の経済見通しは、国内景気は引き続き緩やかな回復が見込まれるものの、海外の経済環境は不透明さを増しつつあります。また、当社グループを取り巻く環境は、政府の補助金制度の縮小や一層の競合激化などにより、厳しい状況になることが見込まれます。

当社グループは、こうした状況に対する危機感を共有しつつ、強い攻めの心構えをもって新たな成長フェーズへ踏み出すべく、当事業年度をもって迎える創立70周年を機に、更なる飛躍に向けた基盤構築のため「その手があった！の一手先。」を新スローガンに掲げ、以下の課題に取り組んでまいります。

1. 対外向けのコーポレートブランディング、グループ内のインナーブランディング及び学生等に向けた採用ブランディングを通じて、更なるブランドの強化をはかります。
2. 部門をまたぐ横断的な組織体の強化により、生産性の向上と新事業の創造を目指します。すなわち、「IT基盤」「人事制度」「生産ライン改善」「海外展開」といった既存プロジェクトの深化をはかるとともに、新たな組織体により新事業創造の基盤構築をはかります。
3. 企業体質を健全に保つには、人材、財務、IT、生産ラインといった経営インフラを整備し強化することが不可欠です。各事業において果たすべき責任と義務を遂行できる人づくり、変動する外部環境をふまえ各事業の最適化をはかる財務基盤、そして持続的な成長に資するIT基盤と生産ラインの構築に一層の注力をしてまいります。

以上を課題として取り組んでまいりますので、株主の皆様には、何卒、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月  
代表取締役社長

丸山将一

## オート機器事業

主力の門型洗車機は、カーディーラーの設備投資意欲に支えられて台数・金額ともに順調に推移しましたが、SS（サービス・ステーション）では、省エネ機器導入促進に向けた政府支援事業が縮小された影響から伸び悩み、全体では減収となりました。オイル機器では、スプレー洗車機の需要増があったものの、エアコンガスクリーニング機やCVT&ATチェンジャーが厳しい価格競争の影響を受け、全体で若干の減収となりました。この結果、オート機器事業全体の売上高は、130億7千4百万円（前期比0.7%減）となりました。



ドライブスルー門型洗車機



一般店舗向け小型表示機とフルカラー表示機

## 情報機器事業

情報機器としては主にLED表示装置を製造・販売しています。一般店舗向け小型表示機は前期実績を上回ったものの大きな伸びとはならず、大型フルカラー表示機は案件数が減少し低調に推移しました。一方、SS向け価格看板は顧客ニーズにマッチし、大きく伸長しました。官需分野においては、大規模物件の受注がなく低調でしたが、道路工事事業用表示板は堅調に推移しました。この結果、情報機器事業全体の売上高は15億9千3百万円（前期比8.0%減）となりました。

## 生活機器事業

生活機器の市場環境は消費者マインドが引き続き好転せず、農家向け商材、一般家庭向け商材ともに厳しい状況が続きました。特に農家向け商材の農産物低温貯蔵庫及び保冷米びつについては、長雨・低温・台風などの外的要因から苦戦を強いられました。一方、一般家庭向け商材の調理家電は、今期新発売の小型精米機、パン焼き機が市場に受け入れられ伸長しました。この結果、生活機器事業全体の売上高は37億4千3百万円（前期比1.2%減）となりました。



小型精米機

農産物低温貯蔵庫

## 業績の推移（連結）

区 分	第59期	第60期	第61期	第62期
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(当連結会計年度) 平成29年度
売上高（千円）	19,346,931	20,459,964	20,558,807	20,480,896
経常利益（千円）	792,623	624,143	968,201	863,204
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	470,047	394,423	614,616	477,692
1株当たり当期純利益	32円41銭	27円20銭	42円38銭	32円94銭
総資産（千円）	20,269,828	19,388,919	19,744,096	20,856,924
純資産（千円）	9,609,961	9,721,844	10,456,040	10,770,256

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		(平成30年3月20日現在)	(平成29年3月20日現在)
(資産の部)			
流動資産		10,929,903	10,196,038
固定資産		9,927,020	9,548,057
有形固定資産		6,369,623	6,014,682
無形固定資産		976,941	1,103,518
投資その他の資産		2,580,455	2,429,856
資産合計		20,856,924	19,744,096
(負債の部)			
流動負債		7,899,374	6,626,012
固定負債		2,187,294	2,662,044
負債合計		10,086,668	9,288,056
(純資産の部)			
株主資本		10,189,518	9,827,868
資本金		3,373,552	3,373,552
資本剰余金		2,951,143	2,951,143
利益剰余金		4,375,279	4,013,596
自己株式		△510,457	△510,424
その他の包括利益累計額		580,737	628,171
その他有価証券評価差額金		413,676	338,101
繰延ヘッジ損益		△13,229	23,845
為替換算調整勘定		52,788	117,384
退職給付に係る調整累計額		127,502	148,840
純資産合計		10,770,256	10,456,040
負債純資産合計		20,856,924	19,744,096

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		平成29年3月21日から平成30年3月20日まで	平成28年3月21日から平成29年3月20日まで
売上高		20,480,896	20,558,807
売上原価		13,622,244	13,827,157
売上総利益		6,858,652	6,731,650
販売費及び一般管理費		6,010,411	5,758,230
営業利益		848,241	973,419
営業外収益		112,798	89,902
営業外費用		97,834	95,121
経常利益		863,204	968,201
特別利益		56	6,961
特別損失		3,956	1,552
税金等調整前当期純利益		859,304	973,610
法人税、住民税及び事業税		334,454	353,922
法人税等調整額		47,156	5,072
親会社株主に帰属する当期純利益		477,692	614,616

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		平成29年3月21日から平成30年3月20日まで	平成28年3月21日から平成29年3月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		498,335	995,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		△417,703	△369,402
財務活動によるキャッシュ・フロー		△316,305	△709,271
現金及び現金同等物に係る換算差額		△5,143	△7,226
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△240,816	△90,291
現金及び現金同等物の期首残高		595,216	685,508
現金及び現金同等物の期末残高		354,399	595,216

## 連結株主資本等変動計算書

当期 (平成29年3月21日から平成30年3月20日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当連結会計年度期首残高	3,373,552	2,951,143	4,013,596	△510,424	9,827,868	338,101	23,845	117,384	148,840	628,171	10,456,040
当連結会計年度変動額											
剰余金の配当			△116,009		△116,009						△116,009
親会社株主に帰属する当期純利益			477,692		477,692						477,692
自己株式の取得				△33	△33						△33
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額(純額)						75,574	△37,075	△64,595	△21,338	△47,434	△47,434
当連結会計年度変動額合計	-	-	361,683	△33	361,649	75,574	△37,075	△64,595	△21,338	△47,434	314,215
当連結会計年度末残高	3,373,552	2,951,143	4,375,279	△510,457	10,189,518	413,676	△13,229	52,788	127,502	580,737	10,770,256



# 個別財務諸表

## 貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		(平成30年3月20日現在)	(平成29年3月20日現在)
(資産の部)			
流動資産		9,068,818	8,595,127
固定資産		10,451,361	9,951,993
有形固定資産		4,992,652	4,574,209
無形固定資産		353,363	357,653
投資その他の資産		5,105,345	5,020,130
資産合計		19,520,179	18,547,121
(負債の部)			
流動負債		7,444,357	6,361,170
固定負債		1,983,814	2,484,024
負債合計		9,428,172	8,845,195
(純資産の部)			
株主資本		9,687,853	9,336,061
資本金		3,373,552	3,373,552
資本剰余金		2,951,143	2,951,143
利益剰余金		3,873,614	3,521,789
自己株式		△510,457	△510,424
評価・換算差額等		404,154	365,864
その他有価証券評価差額金		417,384	342,019
繰延ヘッジ損益		△13,229	23,845
純資産合計		10,092,007	9,701,925
負債純資産合計		19,520,179	18,547,121

## 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		平成29年3月21日から平成30年3月20日まで	平成28年3月21日から平成29年3月20日まで
売上高		17,860,969	18,236,032
売上原価		11,858,537	12,277,481
売上総利益		6,002,432	5,958,550
販売費及び一般管理費		5,323,326	5,178,815
営業利益		679,106	779,735
営業外収益		163,179	133,055
営業外費用		85,454	74,711
経常利益		756,831	838,079
特別利益		56	93
特別損失		3,956	866
税引前当期純利益		752,931	837,306
法人税、住民税及び事業税		229,603	286,746
法人税等調整額		55,493	4,872
当期純利益		467,834	545,687

## 株主資本等変動計算書

当期 (平成29年3月21日から平成30年3月20日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	別途積立金	その他利益剰余金							繰越利益剰余金
当期首残高	3,373,552	655,289	2,295,853	302,000	1,100,000	220,902	1,898,887	△510,424	9,336,061	342,019	23,845	365,864	9,701,925
当期変動額													
圧縮記帳積立金の取崩						△4,929	4,929						
剰余金の配当							△116,009		△116,009				△116,009
当期純利益							467,834		467,834				467,834
自己株式の取得								△33	△33				△33
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)										75,364	△37,075	38,289	38,289
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△4,929	356,754	△33	351,791	75,364	△37,075	38,289	390,081
当期末残高	3,373,552	655,289	2,295,853	302,000	1,100,000	215,972	2,255,641	△510,457	9,687,853	417,384	△13,229	404,154	10,092,007

## 1. おかげさまで創立70周年

当社は、本年7月1日に創立70周年を迎えます。これはひとえに株主の皆様、取引先、そしてお客様のご支援のおかげであります。当社ではこの記念の年を「第二創業期」のスタートと位置づけており、当社の未来を支える手を打っていくことが重要だと考えています。

昨年新たに策定したコーポレートスローガン、「その手があった！の一手先。」のもと、お客様のニーズに応える確かな技術力で、社員一人ひとりが社内外に対して一手先を考え、提案し続けていくという強い決意を持って臨んでいく所存でございます。

おかげさまで、70周年



## 2. 新製品のご紹介

### 【オート機器】

#### ■1WAYドライブスルー洗車機 ファサード

「1WAY洗車機」は、1度の工程で「洗い」と「乾燥」を同時に処理することで、ランニングコストを抑え、時間当たりの洗車台数を伸ばすことができるドライブスルー洗車の理想的な形です。ファサードは、前回モデルから5年を経て、新たに業界初の立体的車形認識システムを搭載し、1工程による洗車クオリティを極限まで高めて、業界最速の洗車速度で圧倒的な仕上がりを実現しました。重厚・安心・先進・信頼をイメージした新色「ロイヤルパープル」も洗車エリアで注目を集めています。



### 【情報機器】

#### ■ストアサインDSクオリエP4

現行の高精細LED表示機を更に高精細化した「ストアサインDSクオリエP4」を発売しました。本製品の特長は、LEDピッチ4mmのモジュールを採用し、画面画素数をW128×H192ピクセルにすることにより、従来の表示機と比べてより鮮明な表示が可能になります。高輝度フルカラーLEDにより屋外でも鮮明な表示ができることから、液晶サイネージに対抗できる商品です。

### 【生活機器】

#### ■小型精米機「RICELON」「COPON」

炊飯器の横において毎日手軽に使える精米量2合の少人数家族向け「小型精米機」2機種を発売しました。精米容器に入れた玄米の量を自動センサーで読み取り、最適に精米します。さらに、対流精米方式とパンチングメタル精米バスケットを組み合わせることで、白米精米でも胚芽残存率が高いやさしい精米を実現しました。精米度は21コースと細かく設定でき、分づき米から白米・米とぎまで、お米の銘柄にあわせて自分好みに精米することができる商品です。



■発行可能株式総数 .....54,930,000株

■発行済株式総数 .....15,595,050株

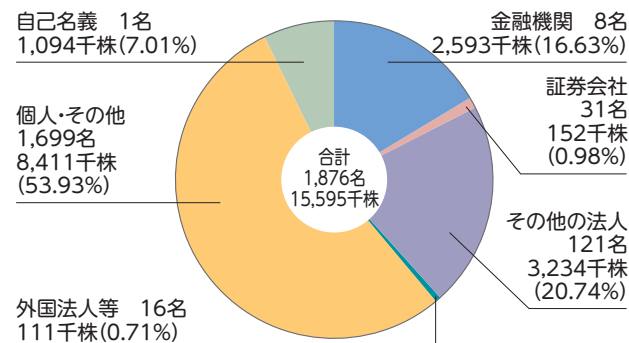
■株主数 .....1,876名

## ■大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
丸山永樹	1,310,600株	8.40%
東京中小企業投資育成株式会社	1,170,000	7.50
大久保文夫	810,948	5.20
株式会社八十二銀行	721,000	4.62
株式会社みずほ銀行	721,000	4.62
三井住友海上火災保険株式会社	580,660	3.72
エムケー精工従業員持株会	580,332	3.72
丸山繁夫	504,400	3.23
近藤繁駕	501,700	3.21
早川弘之助	454,800	2.91

(注) 当社は、平成30年3月20日現在、自己株式を1,093,905株保有しており、上記大株主から除外しております。

## ■所有者別分布状況



## ■会社概要

商号……エムケー精工株式会社  
(MK SEIKO CO., LTD.)

本社……長野県千曲市大字雨宮1825番地  
東京本社……東京都葛飾区青戸8丁目3番5号  
MK東京ビル2F

設立……昭和31年12月17日

事業内容……オート機器、情報機器、生活機器  
の製造販売

資本金……3,373,552,500円

主要な事業所……本社・工場 長野県千曲市  
東京本社 東京都葛飾区  
信濃町工場 長野県上水内郡信濃町  
支店 札幌・仙台・東京・東関東・北関東  
南関東・静岡・新潟・長野・名古屋  
金沢・大阪・四国・広島・福岡

従業員数……781名

## ■役員 (平成30年3月20日現在)

代表取締役社長……丸山将一  
取締役副社長……倉崎一由  
常務取締役……小林文彦  
常務取締役……早川和弘  
取締役……可児敏雄  
取締役……杵掛吉彦  
取締役……和泉秀樹  
取締役……上條由紀子※1  
取締役……丸山永樹  
常勤監査役……近藤重光  
監査役……三浦伸昭※2  
監査役……倉田浩※2  
監査役……廣中龍蔵※2

※1 取締役の上條由紀子氏は、社外取締役であります。

※2 監査役の三浦伸昭氏、倉田浩氏及び廣中龍蔵氏は、社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	3月21日から翌年3月20日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月20日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月20日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告により、当社ホームページ( <a href="https://www.mkseiko.co.jp">https://www.mkseiko.co.jp</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
1単元の株式数	100株

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、配当金振込指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## エムケー精工株式会社

本社/長野県千曲市大字雨宮1825番地 〒387-8603  
TEL.026-272-0601(代) FAX.026-272-4912  
<https://www.mkseiko.co.jp>  
E-mail/soumu@mkseiko.co.jp

## ●●● 株主優待制度のご案内 ●●●

### ①株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンドンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券を贈呈いたします。

### ②発行基準

宿泊優待券は、平成30年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株式数	ご優待券
1,000株~1,999株	2枚
2,000株~3,999株	3枚
4,000株~9,999株	4枚
10,000株以上	6枚

### ③発行日

定時株主総会后、決議通知書に同封いたします。

### ④有効期限

平成31年6月30日

## HP紹介



当社のホームページでは、会社情報をはじめとするさまざまな情報をご紹介します。アドレスは以下のとおりです。  
<https://www.mkseiko.co.jp>

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

